

## 景況感アンケート結果について（12月度）

法人会では平成23年度より定期的に、法人会アンケート調査システムを利用して会員を対象とした景況感アンケートを実施しています。

令和5年12月に実施したアンケートの結果をお知らせします。

### アンケート結果の概要

- ① 本年12月15日現在の景況 → 「良い」が2.4%増加（前回調査比）  
良い（22.3%）      どちらとも言えない（50.5%）      悪い（27.2%）  
（前回比+2.4%）      （前回比▲2.5%）      （前回比+0.1%）
- ② 3ヶ月後の景況予測 → 「良くなる」が5.0%減少（前回調査比）  
良くなる（14.7%）      変わらない（66.6%）      悪くなる（18.8%）  
（前回比▲5.0%）      （前回比+2.3%）      （前回比+2.8%）

（詳細は以下をご覧ください。）

※前回調査は令和5年6月

※%は小数点第2位を四捨五入しております。

### アンケート結果の解説（専門家コメント）

12月の景況感は、「良い」と回答した企業が6月と比較して2.4ポイント増加している。これは半年前に「どちらとも言えない」と回答した企業が2.5ポイント減少していることから、その分が移行したものと見ることができる。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、国内経済が回復に向けて動き出したことを反映したものと思われる。

一方で、景況感の判断材料を見る限り大きな変化は見受けられず、3か月後の予測を見ると「良くなる」が減少していることが気掛かりである。原材料費や燃料費などの高止まりや、いわゆる物流の2024年問題がネックとなっている恐れがある。

加えて、1月1日に発生した能登半島沖地震の被害が深刻さを増し、不透明感が一層高まっていることから、金融政策の「出口」の動向なども踏まえながら引き続き注視していく必要がある。

（一橋大学大学院 経営管理研究科教授 安田行宏）

## アンケート結果まとめ

Q. 12月15日時点の御社の景況(択一選択)および判断材料(複数選択可)

①良い	406	22.3%	②どちらとも言えない	920	50.5%	③悪い	496	27.2%
A. 売り上げ	378	92.6%	A. 売り上げ	767	83.4%	A. 売り上げ	431	86.9%
B. 採算状況	202	49.8%	B. 採算状況	449	48.8%	B. 採算状況	236	47.6%
C. 資金繰り	106	26.1%	C. 資金繰り	158	17.0%	C. 資金繰り	140	28.2%
D. 業務時間の伸長・短縮	22	5.4%	D. 業務時間の伸長・短縮	81	8.8%	D. 業務時間の伸長・短縮	44	8.9%
E. その他	2	0.5%	E. その他	25	2.7%	E. その他	13	2.6%
イベント復活で利用増/コロナ禍明けの観光需要の増加/大型物件の受注/値上げ効果/外出意欲の向上/採算重視の利益確保/人手不足			物流などの2024年問題/燃料を筆頭に原価の上昇/先行きの不透明感/人件費の上昇/人手不足/売上は上昇だが収益が減少/コロナ影響で悪いま/円安			売上低下/原材料・エネルギー価格の高騰/コロナ影響の引き続き/人手不足/受注減/円安/価格転嫁できない/受注の見通しが立たない		
(前回) ①良い	377	19.9%	②どちらとも言えない	1003	53.0%	③悪い	513	27.1%

Q. 3ヵ月後の景況予測(択一選択)および判断材料(複数選択可)

①良くなる	267	14.7%	②変わらない	1213	66.6%	③悪くなる	342	18.8%
A. 売り上げ	234	87.6%	A. 売り上げ	1028	84.7%	A. 売り上げ	272	79.5%
B. 採算状況	112	41.9%	B. 採算状況	596	49.1%	B. 採算状況	165	48.2%
C. 資金繰り	41	15.4%	C. 資金繰り	237	19.5%	C. 資金繰り	85	24.9%
D. 業務時間の伸長・短縮	11	4.1%	D. 業務時間の伸長・短縮	90	7.4%	D. 業務時間の伸長・短縮	32	9.4%
E. その他	8	3.0%	E. その他	27	2.2%	E. その他	18	5.3%
インバウンドの復活の兆し/官公需が安定/値上げ/売上増加の見込み			人材不足/原材料・人件費の高騰/為替の状況/先行きの不透明感/中国経済の動向			物流などの2024年問題/人手不足/受注減/資材高騰/内閣の現状/公共事業の見通し/為替動向		
(前回) ①良くなる	373	19.7%	②変わらない	1217	64.3%	③悪くなる	303	16.0%

Q. 従業員数(択一選択)

①過剰	72	4.0%	②適正	845	46.4%	③不足	905	49.7%
(前回) ①過剰	97	5.1%	②適正	921	48.7%	③不足	875	46.2%

[調査対象] : 法人会会員企業経営者等 13,081 名 (アンケート配信可能な登録者のみ)

うち回答者 1,822 名 (回答率 13.9%)

[調査期間] : 令和 5 年 12 月 15 日～令和 5 年 12 月 27 日

## 法人会アンケート調査システムについて

名称：経営者の声 ～法人会アンケート調査システム～

さまざまな業種の経営者が集う法人会の規模・特性を活かし、パソコンやスマートフォン等で簡単に登録できるアンケートに会員が回答し、その結果を会員に還元するとともに、広く社会に提供しています。

お問い合わせ先

公益財団法人 全国法人会総連合

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 5-6

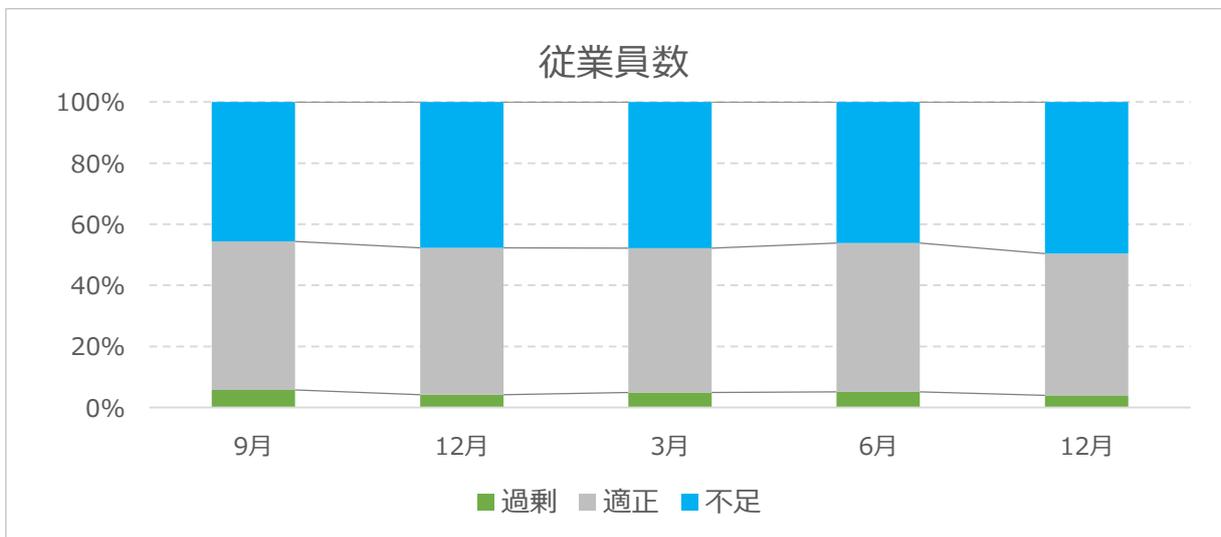
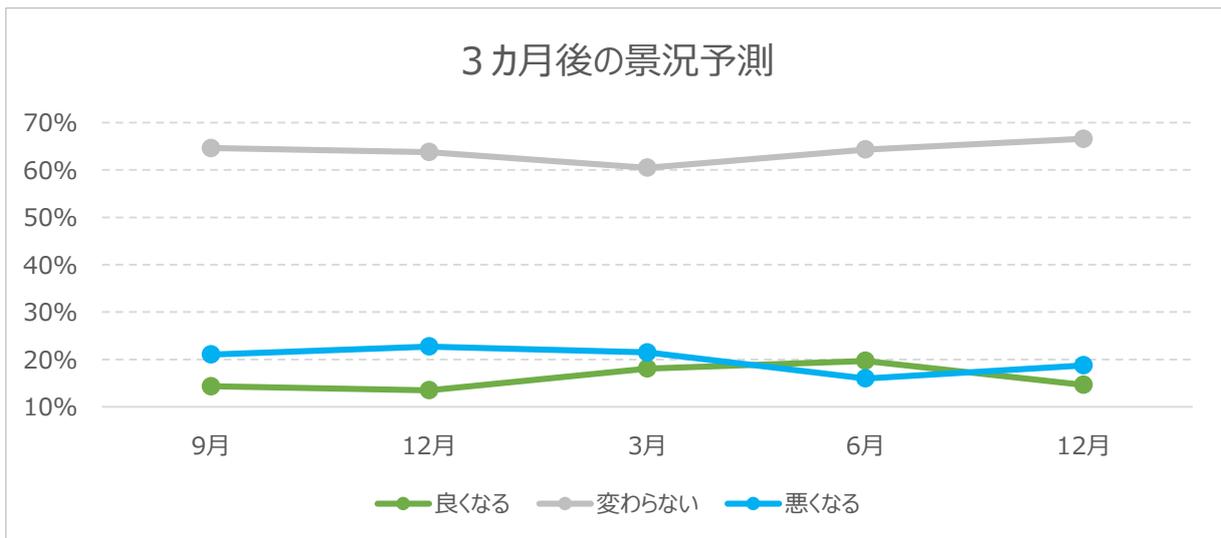
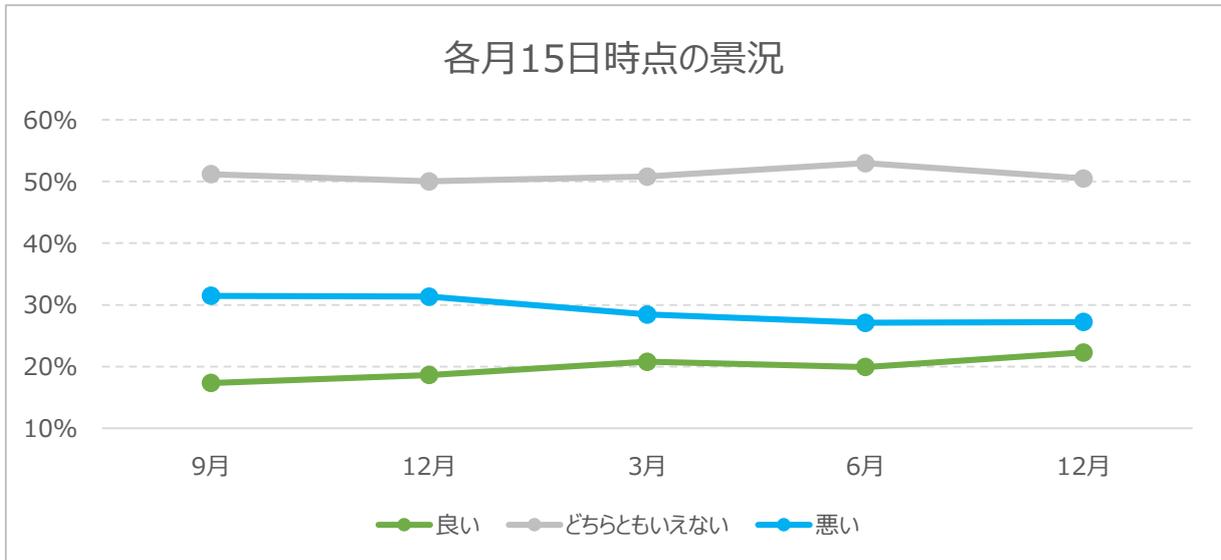
MAIL : info@zenkokuhojinkai.or.jp

TEL : 03-3357-6681

FAX : 03-3357-6682

# アンケート結果の推移

アンケート実施月別比較（本年度は半年に1度、昨年度は3カ月に1度実施）



## アンケート設問の内容

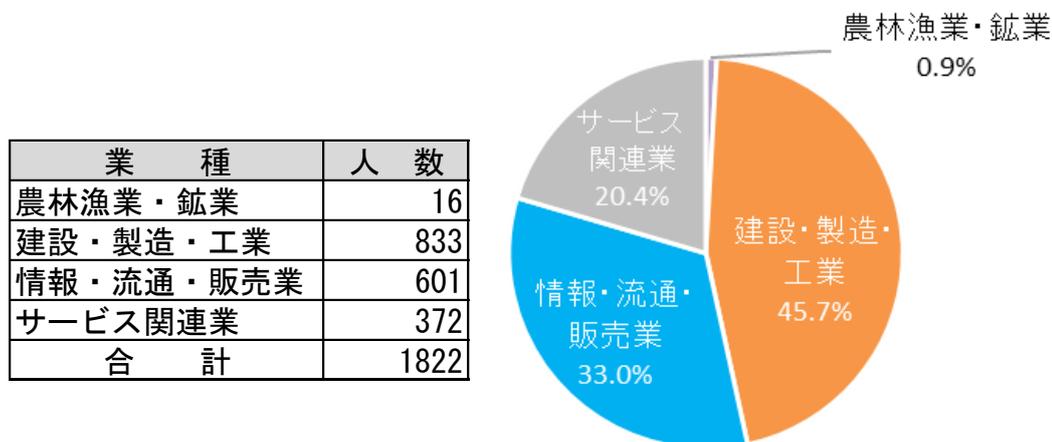
景況感アンケートの内容は次のとおりです。

②・④の判断材料については、①売上げの増加・横ばい・減少、②採算状況の良化・横ばい・悪化、③資金繰りの良化・横ばい・悪化等で判断してください。また、④その他の場合は 20 文字以内でご回答願います。

- |                             |                     |            |                        |
|-----------------------------|---------------------|------------|------------------------|
| ① 毎月 15 日時点の御社の景況<br>(択一選択) | ①良い                 | ②どちらとも言えない | ③悪い                    |
| ② 判断材料<br>(複数選択可)           | ①売上げ<br>②業務時間の伸長・短縮 | ③採算状況      | ④資金繰り<br>⑤その他 (20文字以内) |
| ③ 3 ヶ月後の景況予測<br>(択一選択)      | ①良くなる               | ②変わらない     | ③悪くなる                  |
| ④ 判断材料<br>(複数選択可)           | ①売上げ<br>②業務時間の伸長・短縮 | ③採算状況      | ④資金繰り<br>⑤その他 (20文字以内) |
| ⑤ 従業員数 (択一選択)<br>(択一選択)     | ①過剰                 | ②適正        | ③不足                    |

## アンケート回答者の属性 (業種別)

今回実施した景況感アンケート回答者 1,822 名の業種別の属性は次のとおりです。



※当アンケートは日本標準産業分類の大分類に基づき、以下の 4 グループに区分しています。

農林漁業・鉱業： A 農業, 林業 B 漁業 C 鉱業, 採石業, 砂利採取業

建設・製造・工業： D 建設業 E 製造業 F 電気・ガス・熱供給・水道業

情報・流通・販売業： G 情報通信業 H 運輸業, 郵便業 I 卸売業, 小売業 J 金融業, 保険業 K 不動産業, 物品賃貸業

サービス関連業： L 学術研究, 専門・技術サービス業 M 宿泊業, 飲食サービス業 N 生活関連サービス業, 娯楽業  
O 教育, 学習支援業 P 医療, 福祉 Q 複合サービス事業 R サービス業 (他に分類されないもの)  
S 公務 (他に分類されるものを除く)

## アンケート回答者の属性（地域別）

今回実施した景況感アンケート回答者 1,822 名の地域別の属性は次のとおりです。

地 域	人 数
関東甲信越	668
北海道・東北	259
東海・北陸	317
中国・四国	346
九州・沖縄	232
合 計	1822

